

平成29年度
舟着茶話会のまとめ
参加者:45名

テーマ「地域づくり(舟着づくり)を一步前へ」

住みよい舟着地域にしていくために、現在(いま)から何か行動に移していかなければなりません。
参加していただいた皆さんで、今後の舟着地域のために真剣に話し合っていました。

空き地・空き家

～課題～
高齢化と担い手(後継者)不足により、土地の維持管理が困難になる。
既に、地区外所有者の土地管理に困っている。

解決方法
○ グループ(地域)で機械を購入し、維持管理していく。
○ 若者に農業の必要性と機械の使い方を教える。
○ 地域で花や花木を植栽し、地域で管理して景観を良くしていく。
○ 実態(貸せる、貸せない)を把握し、都市部の農業したい人に貸す。
○ 地域でブランド化できる食べ物を探し、利益を出す。

交通手段

～課題～
近くに商店や病院がないため、運転できない人が増えていくと困る。

解決方法
○ 買い物は商品選びが楽しいので、皆で一緒に買い物ツアーに行く。
○ 移動販売車とSバスを有効活用できるよう、地域で検討する。
○ Sバスを小型化し、地域の奥まで巡回してもらう。
○ 運賃を募金型にした地域ボランティアによる送迎事業を検討する。
○ 自動運転の車を地域で購入し、カーシェアする。

解決方法
○ 「やってほしいけど申し訳ない」を無くし、「やってあげたいがルールがないと・・・」を実現させるため、舟着版シルバー人材センター(有償ボランティア)を設立し、地域で地域を守っていく。



子育て世代

～課題～
子どもが安心して自由に遊べる場所が少ない。

解決方法
○ 小学校や公民館等、人が集まりやすい安全な場所に遊具を整備する。

～課題～
若者が減少し、伝統行事(祭礼等)の継続ができるか不安。

解決方法
○ 「住みたい」、「住みやすい」地域とは何か？について調査する。
○ 舟着若者茶話会を開催して情報収集する。

交流

～課題～
地域の人が集う機会が減少しており、既にコミュニケーション不足だと感じている。
成人するまでの子が地域行事に参加しなくなってきて、伝統行事の継続に不安を感じる。

解決方法
○ 道ですれ違う人に積極的に声を掛け合う。
○ こども園や小学校を中心として交流の場を増やす。運動会を区民参加型にする。
○ 子どもから大人まで楽しみながら、ずっと地域に係われるようにする。

情報

～課題～
地域で活動している団体の内容や、市の補助制度等、情報が周知されていないので活用できない。
また、大変という情報だけで、ボランティア活動に対する理解が得られない。

道路

～課題～
狭い道路や暗い場所が多く、歩道が少ないため、通学時間帯に車を運転するのが怖い。
道路沿いの木が倒れかけている場所が多くあり、災害時の不安を感じる。
新東名が開通し、舟着に新たな橋が架かると、交通量が増えて危険が増える。

解決方法
○ 安全安心マップ作成後に対策を検討していく。
○ 区長会で要望し続けていく。
○ 地域で専門委員会を立ち上げ、継続的に検討していく。
○ 地域安全灯や自動販売機を増やして地域を明るくする。

お役

～課題～
人口が減少し、地域や各団体の役員の受け手がなくなってくる。同じ人が何度も受けざるを得なくなってくる。
消防団員が減少し、地域の安全安心に不安を抱える。
会社勤めの人が増え、ボランティアも限られた日しか活動できなくなっている。



解決方法
○ 作業の軽減を図る。または、組などの組織の合併を検討する。
○ 地域行事を同じ日に開催して負担を少なくする。
○ 行事を減らすと、つながりが無くなってしまふ。奉仕に対する小遣い(報酬)を与え、お役に楽しさを加える。
○ 活動してくれている方々に感謝の気持ちを伝える場、世代の枠を超えた交流の場を創る。

